

大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3981号 2017.10.27 発行

約5700人が参加 障スポ大会、あす28日開幕 愛媛新聞 2017年10月27日



空港に到着した相模原市の選手団（左側）と円陣を組むボランティアら＝26日午後、松山市南吉田町第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔（えがお）つなぐえひめ大会」が28日、開幕する。26日、全国の選手団の愛媛入りが始まり、県内各地の駅や空港で歓迎セレモニーが行われた。

松山市南吉田町の松山空港には、午後1時ごろからユニホームに身を包んだ選手団が続々と到着。選手の滞在中に移動の介助や競技の応援を行う「選手団サポートボランティア」の学生や実施本部員の県職員らが「よう

こそ愛媛へ」など書いた応援旗を掲げて盛大に出迎えた。

セレモニーで互いに自己紹介やあいさつをした後、さっそく担当競技の選手と一緒に円陣を組むボランティアの姿もあった。仙台市の水泳選手に付き添う河原医療福祉専門学校2年の男子学生（19）は「社会福祉士になるため最近まで現場実習をしていた。経験を生かして選手をサポートし、大会を楽しんでもらいたい」と意気込んでいた。

大会は28日から3日間、県内9市町で個人・団体の13競技とオープン3競技を行う。47都道府県と20政令指定都市の選手団約5700人が参加。県内からは選手290人と役員166人の計456人が大会に臨む。開会式は28日、松山市上野町の県総合運動公園ニンジニアスタジアムで行われ、皇太子さまが出席される。

障害者アスリートの素顔 [4] ソフトボール（知的障害） 稲垣洋選手 主将として仲間けん引 愛媛新聞 2017年10月27日



雨天による室内練習でバッティングフォームを確認する稲垣洋選手（左）ら＝15日、松山市中野町

バッティングフォームを真剣に確認する横顔にも楽しさがにじみ出ている。知的障害者ソフトボール県選抜チームの稲垣洋主将（45）。年齢からは想像できないほどのパワーとキレがある3番打者は地元大会での活躍に燃えている。

もともとスポーツが得意な稲垣選手は特別支援学校の中等部時代、先生に勧められ始めた。就職などで長く離れていたが、競技へ

の思いはずっと秘めたままだった。現在の支援事業所のチーム練習に刺激を受け「もう一度頑張りたい」と約4年前に再びバットを握った。

松山市内のグループホームで暮らし、リサイクル作業などに従事する。月2回の合同練習に熱を注ぎ、毎日の自主トレーニングも欠かさない。「体を動かすことは、やっぱり楽しい」とすっかり生活の一部となっている。

元気の良さや声の大きさを買われ、主将を務めて約3年。メンバーは感情のコントロールが難しく、三振してバットを投げ飛ばしたり、監督の注意にすねたりするときもあるという。稲垣選手は「トラブルはあるけど、みんなで協力している。僕も結構短気な方」と苦笑いする。

大会に向けてチームをまとめようと言葉遣いを意識するようになった。チームメートの片岡幸一選手(21)にも「笑顔があふれていて話しやすい」と慕われ、稲垣選手は「もっと声を出してほしいから、率先して盛り上げていく」と頼もしく語る。

加藤誠司監督(49)はルールを理解やプレーの予測が苦手な選手たちに、例え話や簡単な説明で指導するよう心がけてきた。「わかりやすい」とメンバーに好評だが、口頭だけで全てを理解するのが難しいこともある。そんなときは「グラウンドでの実戦が一番」と稲垣選手。体で覚えることの大切さはどのチームも同じ。成果は着実に表れ、打線も強くなり点が取れるようになった。

待ち望んだ大会が近づく。焦りから力んでエラーしないよう守備に加え、打撃にも磨きをかける。「一生懸命プレーする姿を見てほしい」と稲垣選手は力を込めた。

#### 山形市、セブンなどと高齢者見守りや商品開発で連携 産経新聞 2017年10月27日

大手コンビニエンスストア「セブン-イレブン・ジャパン」(東京都千代田区)とスーパーの「ヨークベニマル」(福島県郡山市)、山形市の3者は26日、地産地消と市産品の販路拡大、災害時の救援活動、高齢者や障害者の見守りなどで相互に連携する包括協定を結んだ=写真。協定締結を記念して、27日から新商品「芋煮カレーうどん」や「いか下足の天ぷら」の販売を始める。

協定には同市産の食材を使った商品の開発や販売のほか、高齢者宅への配達の際に健康状態が優れないことが分かれば市に連絡することなどが盛り込まれた。セブン-イレブン・ジャパン東北ゾーンの阿久津知洋マネジャーは「芋煮カレーうどんを山形名物として東北6県、全国に広げていきたい」などと話した。

#### 保育園選びに悩むあなたへ



田暁子)

「保育園選びで最優先は保育の質。保育士が子ども一人一人を尊重し、成長を支援しているかです。安心して子どもを預けられるかどうか、見学したときの直感を大切にしてく

#### NHKニュース 2017年10月26日

来年4月入園に向けた認可保育園の申し込みが多く自治体で始まりました。初めての保育園選びでは、園庭の有無や部屋の広さや、最近話題になった「おむつは持ち帰りかどうか」といった点に目がいきがちかと思えます。「待機児童問題が深刻だし、入園できる可能性の高いほうにしようかな」という悩みもあります。何を優先して選べばいいのか、専門家に聞きました。(ネットワーク報道部記者 飯

ださい」。

### < 1 > 直感が大切！保育士の印象は

「保育園選びで最優先は保育の質。保育士が子ども一人一人を尊重し、成長を支援しているかです。安心して子どもを預けられるかどうか、見学したときの直感を大切にしてください」。

こう話すのは全国の保育環境の調査などを行っている「保育園を考える親の会」代表の普光院亜紀さんです。

チェックポイントは、施設長や保育士は目を合わせて話してくれたか、子どもたちを命令口調で動かそうとせずていねいに接していたか、子どもたちは安心して甘えていたか、だと言います。

さらに普光院さんによると、待機児童対策で保育園の整備が進められている一方で、保育士不足が深刻化。経験やスキルが十分でない保育士が増えると現場に余裕がなくなり、負担感から辞める保育士が出てきて、また経験の浅い保育士が入ってくるという悪循環も見られるといいます。

「お昼ごはんの時間やお散歩から帰ってきた直後など、特に慌ただしいときの保育士たちの立ち居振る舞いを見ると、現場に余裕があるかどうか分かります」と話していました。

### < 2 > “親の便利さ”は優先しない

耳が痛かったのは、「親の利便性を優先していませんか」という指摘です。たとえばネットでも話題となった、使用済みおむつの持ち帰りについて。保育園を考える親の会の会員の間でも「おむつ持ち帰りの保育園はいやだ」という声が多かったということです。



保護者が持ち帰るおむつ

しかし普光院さんは言います。「子どもに寄り添った質の高い保育をしているのに、おむつを持ち帰る園はいやだと選択肢から外してしまうのは、優先順位が違うのではないのでしょうか。『玄関で子どもや荷物を受け渡せる方がすぐに仕事に向かったり帰宅できるのでいい』という声を聞くこともあります。それでは保育園での子どもの生活ぶりが見えません」

また、英語や体操、音楽といった特別なプログラムがある保育園にも、つつい惹かれてしまいます。しかし普光院さんは「子どもが安心して過ごせるか、一人ひとりの発育を尊重し支援する保育ができていられるかが最優先です。保育の質が同等だったら、それから利便性や特別な内容で選ばばいいのではないのでしょうか」と話していました。

### < 3 > 毎日の負担を考えて

続いては通園の問題。普光院さんはかつて、家と保育園、職場の3か所が



「保育園を考える親の会」代表  
普光院 亜紀さん



近いほうが良いとアドバイスしていたそうですが、待機児童問題が深刻な現状では、「妥協するなら職場との近さ」と指摘。「家から保育園は子ども連れで動くので近いほうが良い、職場までは自分一人で移動するので遠くてもなんとかなる」といいます。

赤ちゃんを連れて、着替えなどの保育園の荷物を持って毎日通えるのか。雨や風の日など厳しい状況も想定して検討してほしいということです。「通えると思って選んだけど、遠くて毎日大変なので転園したい」という相談を受けることもあるそうですが、待機児童がいる地域では、転園は難しいのが実情です。

持ち家でないならば保育園の近くに引っ越すことも選択肢の1つだとアドバイスすることもあるそうです。

### 認可保育園 もし入れなくても慌てずに

認可保育園に入れるかどうか、多くの自治体では結果の通知があるのは2月ごろ。それまでの間にやっておくことや、もしも保育園には入れなかったらどうすればいいのか。

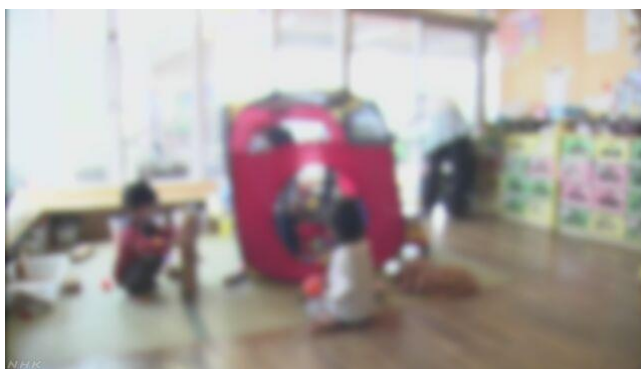
普光院さんはまず、「今のうちから認可外の保育園にも申し込んでおいたほうが良い」といいます。待機児童が多い地域では、入園希望者が100人待ちという認可外の保育園も珍しくありません。

それでも「認可園に入れたから、他の認可外の園にしたからとキャンセルする人もたくさんいます。100人待ちと言われてもあきらめずに申し込み、時々電話して状況を確認し、入園の希望を伝えてください」ということです。

ただし認可外の保育園は認可の園に比べて質の差が大きいので、安心して預けられるかどうか、必ず見学してほしいと話していました。

また、自治体によっては認可保育園の2次申し込みもあります。通園は大変になりますが、駅とは逆方向の保育園など、申し込む園の範囲を広げることも検討してみてください。

4月から保育園に入れなくても、「遠くて通えない」などの理由で辞退する人がいたり、保護者の転勤などによる退園があったりして、5月に急に入園できたというケースもよくあるそうです。普光院さんは、「育児休業が延長できるかなど職場の状況にもよりますが、あきらめずに申し込みを続けてほしい」と話していました。



### 子ども優先の保育園選びを

私が保活をしたのは当時、待機児童が全国一多かった横浜市。最初は室内の広さや衛生面などをチェックしていましたが、次第に「入れるかどうか」に気を取られるようになってしまったことや、「今、入園を決めるならば確実に受け入れる」と、認可外の保育園で言われて心が揺れ動いたこともありました。

でも大切なのは「子どもにとっていい保育園を選ぶ」という気持ちを忘れないこと。そして何より、「納得できる保育園しか申込書に書かない」、「それでもその中のどの園かには入れる」。そういった当たり前の状況に早くなってほしいと思います。

## 無料サイト 勉強面白い…母お手製「ちびむすドリル」人気



毎日新聞 2017年10月26日  
無料で公開されている「ちびむすドリル」の  
小学生向けの問題

ちびむすドリル  
のサイトを  
運営するパデ  
ィンハウスの  
内田美花社長  
北海道の内  
田さん公開  
教材 月1  
50万人が  
アクセス



幼児向け  
の知育教材や小中学生の学習ドリル  
を無料で提供するウェブサイトがある。  
名前は「ちびむすドリル」。北海道  
の内田美花さん(48)が自分の子  
どものために作った教材を公開した  
のが始まりで、今年10年目を迎えた。  
発達障害があったり、学習塾に通うの  
が経済的に難しかったりする子ども  
にも利用され、国内外から月に150  
万人以上のアクセスを集める人気サ  
イトとなっている。【金秀蓮】

ちびむすドリルを運営するのは、北海道江別市に本社がある「パディンハウス」。サイトは2児の母で社長の内田さんが2008年に始めた子育て日記ブログから生まれた。

内田さんの子は当時、小学1年生と幼稚園児。2人とも難聴の障害があり、言葉を覚えやすいように手描きのイラストを添えたなぞなぞのカードや、学校の勉強の復習をするためのドリルなど「あったらいいな」と思う教材を自作した。ブログで公開すると感想や質問が寄せられるようになった。

教育の仕事をした経験はなかったが、パソコンの無料ソフトで数字や時計の読み方を学ぶ知育教材も作った。サイトを独学で開設し、利用者の増加を受けて13年に会社を設立した。現在は元教員や塾講師経験者らにも協力してもらい、イラストやデザインなどは外注している。

問題の難度は教科書のレベルに合わせている。各単元で学ぶ内容をさらに細かく分けているのが特徴だ。例えば、小1の算数の「20までの足し算」では、10と1桁の数を足す▽11以上と1桁の数を足す▽1桁同士を足して繰り上がるーに分け、それぞれ1枚のプリントにしている。類似問題を多く解くことで、復習しながら、苦手なポイントを克服するのが狙いだ。

サイトの利用者は保護者が中心で、発達障害のある子を持つ親や、学習塾に通うのが経済的に難しい家庭でも喜ばれている。教員が宿題に使うケースも1割程度ある。教材は全て無料のため、広告が主な収入源だ。

動画も公開している。この夏は発達障害がある子の父親から「歯磨きを最後までできない。歯磨きができるようになる動画を作って」とリクエストを受けた。歯磨きのすべての行程を歌とイラストで表現した「いっしょにハミガキ」を作って公開したところ、「動画を見ながら最初から最後まで歯磨きができるようになった」と感謝されたという。

内田さんは『時計が読めるようになった』『苦手な足し算ができるようになった』とい

う利用者の声と、教材を作ってくれる人たちに支えられてきた。これからもニーズに応え、多くの人の役に立てたら」と話す。

ちびむすドリルのサイトは <http://happylilac.net/>

## 福島県に自立援助ホーム開設 親と暮らせない若者を応援



福祉新 聞 2017年10月27日編集部  
打ち合わせをする関さん(左端)と根本さん(中央)

親と暮らせない事情がある15～20歳未満の若者が入居する「自立援助ホーム」が今年7月、福島県いわき市に開設された。県内には2013年6月に1カ所できたが15年度末に閉鎖。それ以来はなかった。「ホームを出た次には輝かしく充実した生活を送ってほしい」。そんな願いからホーム名は「NEXT福

島」(根本保則ホーム長)とした。

ホームはマンションの1室にあり、定員は6人。個室が用意されたシェアハウスのような空間で食堂、浴室、トイレは共用だ。昼間は職場や学校に通うのが基本だが、就職や進学を目指す人も入れる。10月12日現在、男子1人、女子1人が暮らしている。

運営するのは(株)ネクストワールド(横浜市)で、横浜市内で16年5月に自立援助ホームを立ち上げたばかり。代表の関茂樹さん(36)は福島県にはないことを知るとすぐに動いた。以前、いわき市内の障害福祉事業所で働いた経験から、旧知の根本さん(58)と再会し構想を語った。

根本さんは福島県内の介護施設や保健所で経験を積んだベテランのソーシャルワーカー。「自立援助ホームを必要とする子は多いのに、この制度はあまりにも知られていない」と熱弁する関さんを意気に感じ、新しい分野に飛び込んだ。

開設から3カ月たち、根本さんは「地元の学生ボランティアが学習支援に訪れてくれるようになった」と話し、周囲から理解や協力を得られてきたことに手応えを感じているという。

自立援助ホームは1997年の児童福祉法改正で児童自立生活援助事業として位置付けられた。児童養護施設など福祉施設を退所した人の受け皿となってきたが、近年は家庭や精神科病院から入居する例が増えている。16年10月1日時点で全国に143カ所あり(福島を含む6県はゼロ)、政府は19年度末までに190カ所に増やす目標を掲げている。

## みとった家族もケア 飯田市南信濃の特養が「しのぶ会」



信濃毎日新聞 2017年10月27日  
しのぶ会に向けて打ち合わせをする遠山荘の職員

入所するお年寄りの最期を家族らと共にみとる取り組みを続けている飯田市南信濃の特別養護老人ホーム遠山荘が、遺族のケアに力を入れている。28日には、この1年間に亡くなった利用者を遺族と一緒に暮らした別の利用者たちとしのぶ会を計画。遠山荘の所長山崎元宏さん(52)は「利用者の最期を見届ける施設として、その後もご遺族に寄り添っていける施設のあり方を模索したい」と話

している。

県医療推進課によると、2016年に県内の介護老人保健施設や特別養護老人ホームなどの福祉施設で亡くなった人の数は3487人に上り、県内で死亡した人の約14%を占めた。高齢者福祉施設で亡くなる人の数は、増える傾向にあるという。

遠山荘は市社会福祉協議会が運営し、約50人が入所している。14年度、入所する人の家族に口頭で説明していた施設の「みとりケア」についてパンフレットにまとめた。特定の病気がなく自然に死亡する自然死（老衰死）や、延命治療の方法やリスクなどを解説している。

山崎さんによると、入所する際にみとりについて説明をすると、驚いたり涙を流したりする家族もいるという。「利用者本人に最期まで望む生き方を全うしてもらうには、家族の協力が欠かせない」と話す。パンフは、治療の選択や最期のみとり方を家族に考えてもらう狙いだ。利用者の死後は、職員や遺族を交えた会合を開き、みとりの過程を振り返ることで遺族の思いを聞き取っている。

しのぶ会は、家族や他の利用者が、亡くなった人との別れを受け止める機会をつくろうと09年に開始。亡くなった人に宛てた手紙を遺族に書いてもらい、生前の写真などで編集した映像の上映を毎年続けている。

昨年からは、利用者のみとりに関わった施設職員が、一周忌を迎えた遺族宛てに手紙を送るといった取り組みを始めた。山崎さんは「地域の施設だから実現できる最期の迎え方や遺族のケアがある」とし、「家族ができる限りを尽くしたと思えるみとりをかなえていきたい」と話している。

## 小中高の暴力行為 大幅減7672件

読売新聞 2017年10月27日 大阪

◇府教育庁 講師や相談員派遣

### 暴力行為7672件の内訳

	対教師	生徒間	対人(教師と生徒以外)	器物損壊
小学校	380	1548	20	401
中学校	943	2996	98	678
高校	82	429	22	75
計	1405	4973	140	1154

文部科学省が26日に発表した、「児童生徒の問題行動・不登校調査(2016年度)」で、府内では小中高校の暴力行為が7672件と、前年(9785件)よりも大幅に減少したことが分かった。2012～15年度に全国最悪だった1000人当たりの発生件数は8・2件で、島根、神奈川、新潟の各県を下回ったものの、全国的には高い水準にある。(佐々木伶)

暴力の種類別では生徒間が最も多く、4973件。対教師が1405件、器物損壊が1154件、生徒、教師以外への「対人」は140件だった。

府教育庁は15年度、暴力行為の件数が多い中学校に講師を派遣し、生活指導を担当する教員の授業を代行する取り組みをスタート。担当教員が生活指導に専念できるようになり、休み時間にも教室を見回すなどの対応が可能となった。中学は4715件(前年6394件)と、3割近く減った。

小学校でも16年度から、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの派遣を始めた。問題行為の背景として家庭にも要因がある可能性も想定し、必要があれば市町村の福祉担当課への橋渡しも行う。

同庁は「継続してきた取り組みで、一定の成果が得られた。引き続き努力を続けたい」とする。

小中高校のいじめの認知件数は、前年度比約1・7倍の1万7922件に増加した。同庁は「いじめと断定できない場合でも認知件数に加えて、早期解決に努めた」と説明。94・9%は解消されたとしている。

公立の小中学校の不登校児童生徒数は、前年度よりも479人多い1万46人だった。8512人だった09年度以降、増加傾向が続いており、04年度以来、12年ぶりに1万人を超えた。

## 自動運転バス 運行開始 ドイツで初めて



使って位置を確認しながら走行します。バスは、町の中心部と温泉施設を結ぶおよそ700メートルの距離を、時速15キロ以下で往復します。

路線は一般の車が走る公道も含まれているため、地元の自治体が特例として走行を認めたほか、駐車違反の車が道を塞いでいる場合など想定外の事態や緊急事態に備えて、職員が1人、常に乗車しています。ドイツ鉄道によりますと、公道での自動運転のバスや車の走行はドイツでは初めてだということです。運行初日の25日は、地元の人たちや湯治客らが早速バスを利用しました。

高齢の女性は「私は少し障害があるので、町の中心までバスで座って行けたらうれしいです」と話していました。

ドイツ鉄道は来年さらに路線を広げて利用者の反応などの検証を進める予定で、ルッツ社長は「将来、特に人口が少ない地域で、住民の移動手段の向上のために魅力的なサービスを提供できると確信している」と話していました。

### 自動運転 激しい開発競争

自動運転は、電気自動車と並んで自動車メーカー各社が激しい開発競争を繰り広げている分野です。自動ブレーキや自動で駐車できる機能などはすでに実用化されていて、現在世界のメーカーが開発を競うのは、さらにその先の緊急時以外はドライバーの操作が必要がない車や完全に無人で走る車です。自動運転の技術は、交通事故や渋滞を減らすだけでなく高齢者の移動手段の確保やドライバー不足などの社会問題の解決にもつながると期待されていて、25日報道陣に公開された東京モーターショーでも最新の技術が相次いで披露されました。

自動運転には、周囲の車の動きや道路の状況など膨大な情報を処理するAI＝人工知能が不可欠で、自動車メーカー各社がIT企業との協力を加速させているほか、グーグルやアップルといった世界を代表するIT企業が自社での開発に乗り出しており、業界の垣根を越えた主導権争いが始まっています。

ただ実用化に向けては技術の確立だけでなく、自動運転の車に対応した道路インフラの整備や事故が起きた際に、だれが責任をとるかなど解決すべき課題が多くあり、広く普及するまでには時間がかかると見られています。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も

